



図書館だより



鹿嶋市立中央図書館 TEL: 0299-83-2510

大野分館 TEL: 0299-69-1114

<http://opac.city.kashima.ibaraki.jp/>

あたらしきページ開かれ図書館に 差し込んでゆく初日のひかり

● 新年挨拶 ●

榎本 麻央(中央館)

明けましておめでとうございます。いつも図書館をご利用いただき、有難うございます。昨年は皆さま方から沢山のご支援、ご協力を賜り、「楽しくやさしい天文学講座」をはじめとする各種の事業を実施することができました。

また、広告掲載で事業主の皆さまから提供いただいております雑誌(11社・31誌)もおかげさまで貸出の実績数が伸びており、事業主の皆さまにも深く感謝申し上げます。

更に、中央図書館開館30年目の記念事業として実施しました、「電子図書館・電子書籍体験フェア」並びに「図書館フォーラム」も大変好評で、特に「図書館フォーラム」では、参加いただきました皆さまから沢山の貴重なご意見を頂くことができました。これから図書館を運営していくなかで、参考とさせていただきたいと考えております。

図書館は、乳幼児向けの絵本をはじめ、生活課題を解決するための資料や、地域の歴史・文化を研究する資料など、さまざまな資料の確保、提供に努めていきます。皆さまのご要望に的確にお応えできるよう、職員一同図書館サービスの充実に向けていきたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

中央図書館長



日	月	火	水	木	金	土
年始の休館は、1/5まで 1/6は、中央館・大野分館とも10時開館				1/1 (休)	2 (休)	3 (休)
4 (休)	5 (休)	6 中央館 大野分館 (休)	7	8	9	10 中央館 11:00~ 大野分館 13:30~14:00~
11 大野分館 14:00~ (休)	12 (休)	13	14	15	16	17 中央館 11:00~ 大野分館 11:00~
18 中央館 (休)	19 (休)	20	21 中央館 14:30~ (休)	22	23	24 大野分館 14:00~ 講談社 おはなし隊
25 中央館 16:00~ (休)	26 (休)	27	28	29	30 (休)	31

私のおすすめの一冊

『血族』 (F/913.6/ヤ)

山口 瞳 著 (文藝春秋)



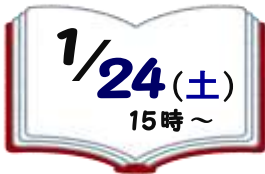
山口瞳は1963年、『江分利満氏の優雅な生活』で第48回直木賞を受賞した。その年から31年間、週刊新潮に休まず連載したエッセイ『男性自身』も有名だ。『血族』は父母の出生の秘密を探る壮大な私小説である。出版は1979年。書くきっかけは著者の誕生日が戸籍上と一致しないことや、後に妻となる女性がもらした一言「あなたの家族や親類はいずれも美男美女が多く驚いた」。公平に見て「母はかなりの美人だった」。鎌倉海岸で最初に水着を着た女性として新聞に登場した。妹(叔母)は更に“絶世の美女”であり、器量望みで有名旅館に嫁いだ。母は隣に住む川端康成と対等な口をきいて平気だった。一体に臆することがなく、人情に厚く涙もろかった。野暮を嫌い、粋すぎをもっと嫌った。利発で勝気。野坂昭如は書評中、母の少女時代を『たけくらべ』の美登利に似るとしている。

母方の親類の美貌の由来は何か。いつかその禁忌を尋ねようとするが、母は56歳で急死する。20年後、著者は横須賀の柏木田と呼ばれる地に立ち、母の血筋を知ることとなる。「母はこの地で生まれ、この地で少女になり、この地で娘になった。そうして母は死ぬまで、そのことを私に言わなかったし、その場所を訪れることもなかった」。『血族』は推理小説仕立てで進んでいくが、全編、美しく天衣無縫だった母への憧憬で溢れている。信じられないが、すべての人の母には眩いばかりの娘時代が存在する。
(大野分館 兼平 正美)

たのしいおはなし
たくさんのおはなし

おはなし隊が
やってきました!

全国に“読み聞かせ”の輪を広げる講談社の『本とあそぼう 全国訪問おはなし隊』が中央図書館にやってきます。たくさんのお絵本を積み、全国を回るキャラバンカーの見学と、「おはなし会」を楽しみましょう。



【プログラム】

15:00~ キャラバンカーの見学
15:35~ おはなし会

会場：中央図書館 前庭ほか
参加問合せ：中央図書館
☎83-2510まで

先着
50名





新着図書のご案内

ホームページの『おすすめコーナー』でも、毎週、**新刊案内**をお届けしています。是非、ご覧ください。



一般

『ひとりぼっちを笑うな』(726/エ)

蛭子 能収 著

『「ひとりでいること」のよさについて、みんなにもっと知ってもらいたい。』。友だちが少ない、むしろいない、と語る蛭子さん。メールやTwitter、LINE など、人とのつながりに縛られすぎる現代人に贈る、蛭子流幸福論。



小説

『電気ホテル』(913.6/ヨ)

吉田 篤弘 著

そのホテルは、この世の二階に存在する。周期的に移動を繰り返し、出現するたびに周囲の電気を大量消費し、大停電をもたらすとされる「電気ホテル」をめぐる、奇怪な人々、事件。想像力を掻き立てられる、ギミックに溢れた幻想的な物語。



ルポ

『宇宙を目指して海を渡る』(916/オ)

小野 雅裕 著

何も成さずに死ぬことが怖い、だから夢を追う生き方を選んだ…子どもの頃からの夢である宇宙開発へとたどり着いた著者は、いかにしてその夢をつかんだのか。将来を考える人、また、現在仕事をしている人にも勧める、小説のような語り口で綴られた一冊。

今月の
おすすめAV



CD『江戸のラヴソング 柳家小菊・ひきがたり寄席のうた』

(D30・ヤ) 大野分館所蔵

柳家小菊師匠は、東京の寄席を中心に活躍中の音曲師。三味線にのせて、新内や端唄、俗曲、都々逸などを粋に聴かせてくれますが、その上品で艶やかな芸は、高座で大人気です。唄は勿論のこと、面白味と可愛げのあるトークも絶品で、会場では毎回華やかな笑い声が湧きおこります。そんな寄席の雰囲気、丸ごとパッケージされたこのCD、お正月には絶好の日本ムードかもしれません。



こどものページ



『**鳥よめ**』(E/726.6/ト)

あまん きみこ 著

とうだい まも しゅうへい いのち たす とり わが
灯台を守る周平さんのもとへ、命を助けられた鳥だという、若いむすめ
さんがやってきました。ふたり はやがて、なか よ ふうふ になりましたが、しあわ
せいかつ せんそう しの よ
生活に、戦争が忍び寄ってきます。



『**魔女バジルと魔法のつえ**』(K/913/モ)

茂市 くみこ 著

いちにんまえ て し しゅぎょう つつ
一人前の魔女になるには、大魔女の弟子になって修行を積むのがきまり
です。しかし、みならい 魔法のバジルは、弟子入り試験の日に寝坊をして、聞
いたこともない魔女につくことになってしまいました。がんばりやのバジルの
お話しです。

こんにちは♪ **大野分館です。**

★1・2月の特設コーナー★

大野分館では、『おいしい小説』、『たのしい室内あそび』、『2014文春ミステリーベスト10』のコーナーをご用意します。是非ご利用ください。

♪行事のお知らせ♪

- おはなし会 大野分館 おはなしのへや
1月10日(土)14:00～
- 大野シネマ館 大野ふれあいセンター2階 AV室
1月11日(日)14:00～ 『推定無罪』 主演:ハリソン・フォード
- 読みかかせの会 大野分館 おはなしのへや
1月17日(土)11:00～
- 子ども映画会 大野ふれあいセンター2階 AV室
1月24日(土)14:00～ 『イソップ物語 2』

カルタの展示も
ごらんください。

～次の雑誌リサイクル・図書館だよりの発行は、2月1日(日)予定です。～